

令和6年11月 5日

保護者のみなさま

越前市北日野小学校

校長 和田祥朗

令和6年度『北日野っ子学びフェスティバル』アンケート結果について

先般は『北日野っ子学びフェスティバル』をご参観いただきありがとうございました。その後実施しました Home&School によるアンケートで、たくさんのご意見をいただきましたので、子供たちのアンケートと併せてご一読ください。(別紙参照)

たいへん良かった。来年も期待していますというご意見について

たくさん保護者のみなさまから「授業参観や発表会とは違って、本当に感動し楽しめました」というご感想をいただきました。「自分で勉強したことを他者に伝えることで学びが深くなるなど感じた」という、今回のねらい通りのうれしいご意見もありました。本校が目指すのは【自分の考えを自分の言葉で、わかりやすく相手に伝える子供たち】です。大勢の中の一人ではなく、『一分の一』の子供の育成です。

ただ「先生の意見を押し付けられたと子どもが言っていた」「『やるかもしれない』と言っていたことをやらなくなったとは知らずに、娘はずっとコツコツ家でまじめに練習していた」「探求する意味や方法をもっと理解できてきたら、さらに良い発表になったんだろうな」というご意見がありました。子供たちの『探究的な学び』に添える指導について、教職員で研修を重ねていきます。

運営について

「1つの教室で2グループが同時に発表するため、せっかくの発表が聞き取りづらかった」「兄弟で同時に観れない方がいた」「以前の学習発表会の形式と勘違いして、時間と場所を間違えてしまったので、ほとんど参加できなかった」など、運営面に関して課題がありました。事前の周知方法の工夫、よりたくさんの方の会場の設定、発表時間の枠を広げるなど、改善をしていきます。

ステージ発表をしてほしいというご意見について

「昨年のようなステージでの発表会を希望します」というご意見がいくつかありました。ステージ上から、たくさんの方を相手に発表するということももちろん大切です。しかし今回の『学びフェスティバル』は『ねらい』が違います。文部科学省が提唱している【個別最適化】【協働的で探究的な学び】の発表の場として設定しました。今後は、学年間の交流(見せ合い)やクラブ活動発表、児童集会での活動など、学校生活において体育館やステージでの発表の機会を増やしていきます。

その他

ご意見の中には、教職員の負担についてのご感想もいくつかありました。お気遣いありがとうございます。昨年までの学芸的な発表会では、多くの練習時間が必要でした。今年度は、通常の授業はほとんど削減することなく、教職員は一人一人の子供たち(グループ)と向き合うことができました。その分、力量が問われたのも事実です。教職員自身が自らの学びを振り返り、見直しをもって子供たちの学びについて考えていけるよう研鑽を重ねていきます。